

わが社の経営理念 VOL.229

大林 佐江（阪神支部）

株式会社大林

経営理念

「私たちは高品質な製品・サービスの安定供給を通じてお客様に貢献します」

ミッション

「私たちは、一人ひとりの成長と全員経営を通して、関わる全ての人々のこころ豊かな人生の実現に貢献する」

ビジョン

「“技術力”を活かし“やりがい”を持って、常に一步先を進むロールモデルとなる！」



社 名：株式会社大林
住 所：尼崎市東初島町2番29
役 職：代表取締役
氏 名：大林 佐江
所 属：阪神支部
同友会入会：2019年9月

■事業内容及び企業の沿革

株式会社大林は、私の祖父が「大林商店」として繊維製品の販売を始めたのがルーツです。その後、本格的に包装資材用フィルムの取り扱いを開始し、今年で創立から56年目を迎えました。現在では、フィルムの仕入れからお客様の様々ご要望に合わせた加工手配のトータルサポートまでを手がける、フィルム加工と販売の事業を展開しています。

■経営理念（経営指針）の成文化について

いつ頃・どのようなきっかけ（勉強方法や経緯）で作成しましたか

私が株式会社大林に入社したのは、二代目社長だった父の突然の他界がきっかけでした。それまで社会人経験も乏しく、「経営者って何をやるの?」というくらい会社経営について何も知りませんでした。今思えばお恥ずかしい話ですが、「経営理念」という言葉も、同友会に入会して初めてその意味と重要性を学びました。

正直なところ、当初は経営理念の必要性をすぐに感じることはできませんでした。しかし、同友会での学びを深めるにつれて、これは「自社にとって不可欠なものかもしれない」という思いが芽生え始めました。父が社長だった頃の当社は、良くも悪くもワンマン体制。社内全体で共有されている経営理念というものは存在しませんでした。

私自身、父と同じやり方で経営していくことはできない、という強い思いがありました。自分が経営者として、この会社をより良い方向へ導いていくためには、社員と共に進むべき羅針盤が必要だと感じ、経営指針成文化セミナーに参加しました。

その中での出来事について（社内での出来事・社員の変化など）

経営理念とミッション・ビジョンを私が策定した後、今年、社員と共に「バリュー」を創り上げる取り組みを行いました。私一人で考えた言葉を押し付けるのではなく、社員一人ひとりが持つ価値観や想いを大切にしたい、

という思いがあったからです。

バリューを作成する過程では、何度も全体で意見交換を重ね、時には熱い議論を交わしました。このプロセスは、私にとって大きな学びの連続でした。皆が「こんなことを考えていたんだ!」と、互いの新たな一面を発見する喜びがあり、同時に、自社の課題も浮き彫りになりました。皆で気づいた課題にこれから社内全体で真摯に向き合い、より良い職場環境づくりを進めていきたいと考えています。

■経営理念について

経営理念への想い

理念を言葉にするにあたって自社はどんな存在なのか、何のためにあるのか、を考えた時、会社は、働く人のためにある、という考えにたどり着きました。だからこそ、社員が毎日楽しく過ごし、仕事を通じて幸せを感じられる会社を目指しています。私が考える「働きがいのある会社」とは、「やりがい」と「生きがい」の両方が感じられる環境です。

「やりがい」は、自身の成長を実感できること。

「生きがい」は、使命感を持って人の役に立てること。

この二つを両立できる会社であることで、社員とその家族、そして大切な取引先の皆様、さらには地域社会全体にも貢献できる会社を目指していきます。



バリュー策定ミーティング



会社外観



スリット加工



事務所